

# 地 域 再 生 計 画

## 1. 地域再生計画の名称

地域産業を支える港づくり計画

## 2. 地域再生計画の作成主体の名称

青森県

つがる市

## 3. 地域再生計画の区域

つがる市及び西津軽郡鱒ヶ沢町の区域の一部（七里長浜港及び車力漁港）

## 4. 地域再生計画の目標

車力漁港及び七里長浜港は、つがる市及び鱒ヶ沢町に位置している。つがる市及び鱒ヶ沢町は、青森県津軽地域に位置しており、日本海に面して南北に伸び、北部、津軽平野部、南部で大きく異なった自然環境を有し、一部の区域は津軽国定公園に指定されている。北部は竜飛崎から小泊岬にかけて、急峻な山が海に直ちに接する海蝕崖の絶壁と海蝕崖下の巨大な顕岩、海蝕洞門等の険しい海岸景観を形成している。津軽平野部は、岩木川が注ぐ十三湖をはじめ、長大で美しい砂浜と防風林のマツ林から成る七里長浜の自然海岸や平野と七里長浜との間に位置する緩やかな起伏の地形と数多くの湿原や池沼等が分布している。南部は、ブナの原生林や動植物の多様性で世界的に特異な森林として世界遺産登録されている白神山地を有している。加えて、沿岸の西海岸は、海岸段丘が発達する地域で、風光明媚な海岸景観を形成している。

気候は、典型的な日本海型気候で、降雪期間は11月中旬から4月上旬の約半年間にわたり、冬が長く、積雪や強い季節風による地吹雪など厳しい気象条件で、地域の産業や生活活動全体に直接的・間接的に大きな影響と障害をもたらしている。

青森県では、地域の特性を活かした魅力と活力ある地域づくりを進めていくため、県内6箇所「地域県民局」を設置しており、当地区を所管する「西北地域県民局」は、平成19年4月に設置されたところである。平成19年5月に同県民局内に県、市町村及び各種団体による「つがる西北五活性化協議会」を組織し、特性を活かした地域づくりを進めているところである。

同協議会では、

- ・ 地域農林水産資源の活用
- ・ 地域内交流・地域外交流の促進

を軸として、農林水産業の担い手の育成・確保、広域観光ネットワークの構築に向けた商工・観光団体や市町村、観光施設、観光事業者等の連携の強化等を提言しているところである。

こうした状況の下、鱒ヶ沢町の七里長浜港は、津軽地域から発生する物流需要に対応するため、物流港湾として整備を進めている。同港では、主要取扱貨物で主に建設資材として利用される石灰石や石材等の物流確保が地域の活性化に資するとの認識から、安全性、定時制が確保された港湾を目指し整備を行ってきているが、港内の静穏度が未だに不十分なため、接岸や陸揚げなどの荷役作業に遅れ

が生じる状況となっている。また、同港から津軽地区の豊富な観光地へのアクセスが容易であることから、観光クルーズ船の寄港が定常化しつつあるが、当地域の課題である交流人口の増大を図るため、更なるクルーズ船の誘致が必要であり、このことから港湾の安全性、定時制の確保が必要となっている。

一方、つがる市の車力地区の漁業は、内水面漁業と沿岸漁業が主であり、地区で唯一の漁港である車力漁港は、水産業の生産基盤の拠点となっている。当地区は、豊かな磯根資源の増殖のため、積極的につくり育てる漁業を推進しており、魚礁設置による操業の効率化、アワビ稚貝の放流事業に取り組むなど、磯根資源の確保と適正な漁場管理に努めている。しかし、その活動拠点となる車力漁港は、荒天時には、防波堤からの越波や用地への浸水により、漁具倉庫が損壊するなど、安全な利用が困難であるため、港内静穏度の確保が喫緊の課題となっている。

車力漁港で水揚げされた水産物は、七里長浜港を有する鱒ヶ沢町の産地市場まで陸送され、同町のイベント会場や農林水産品の直売施設となっている「海の駅わんど」へも提供されているため、七里長浜港へのクルーズ船寄港により、観光客への水産物の販売促進が期待されているところである。また、同クルーズを誘致するため、県、鱒ヶ沢町、つがる市の他、津軽地域他市町村、関連会社で組織する「七里長浜港利用促進協議会」が中心となりポートセールスを行っており、この活動を行う上でも、新鮮な水産物の安定供給が、七里長浜港を利用する観光クルーズのセールスポイントとなるため、港湾、漁港が連携した機能強化が重要となっている。

このような地域が抱える課題を解決するため、本計画では各港において外郭施設を整備することに加えて、七里長浜港においては物流拠点としての機能を、車力漁港においては効率的な漁業活動が行える水産拠点としての機能を、それぞれ強化し、港湾及び漁港の連携により、経済交流の拡大と地域産業の発展を推進し、地域の活性化を図る。

### **（目標 1） 入港船舶の増加による経済交流の拡大**

物流拠点としての機能強化や、地域の豊富な観光資源、農林水産資源を活用したクルーズ船の誘致により、七里長浜港への入港船舶隻数を増加させ、経済交流の拡大による地域の活性化を図る。

#### ○ 七里長浜港への入港船舶隻数

63 隻／年（平成 16 年～平成 19 年の 4 ヶ年平均値）から

75 隻／年（平成 20 年～平成 23 年の 4 ヶ年平均値）に増加

### **（目標 2） 地域漁業の振興と水産物の安定供給**

地域漁業への新規参入を促進するとともに、都市漁村交流の推進等により水産物の需要拡大を推進し、地域漁業の振興と水産物の安定供給を図る。

#### ○ 地域漁業への新規参入 5 人（平成 23 年度まで）

## **5. 目標を達成するために行う事業**

### **5-1 全体の概要**

青森県津軽地域の産業、経済の振興に寄与するため、七里長浜港は船舶の航行安全性の向上と荷役効率向上のための防波堤整備、車力漁港は漁業活動の安全性及び効率性向上を図るための防波堤の整備を行う。これにより、七里長浜港の物流拠点としての機能強化及び車力漁港の水産拠点としての機能強化を図る。

## 5-2 法第五章の特別の措置を適用して行う事業

### 港整備交付金を活用する事業

#### [施設の種類と事業主体]

- ・ 港湾施設（七里長浜港） 青森県
- ・ 漁港施設（車力漁港） つがる市

#### [整備量]

- ・ 港湾施設・・・防波堤
- ・ 漁港施設・・・防波堤

#### [事業期間]

- ・ 港湾施設 平成20年度～平成23年度
- ・ 漁港施設 平成22年度～平成23年度

#### [事業費]

- ・ 総事業費 1,828,000千円
  - 港湾施設 1,578,000千円（うち交付金631,200千円）
  - 漁港施設 250,000千円（うち交付金125,000千円）

※なお、上記事業の整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

## 5-3 その他の事業

### 基本方針に掲げられた支援措置によらない独自の取組

#### (1) 七里長浜港ポートセールス

県、鱒ヶ沢町、つがる市の他、津軽地域他市町村、関連会社で組織する「七里長浜港利用促進協議会」が中心となり、津軽地区の豊富な観光資源を活かしたクルーズ船を誘致する活動に加え、物流拠点としての利用促進を図るための活動、企業誘致等を行い、地域の活性化を図る。

#### (2) 漁場整備

つがる市では、水産業の振興を図り、かつ、水産資源の維持・持続的活用を推進するため、継続的な漁場整備を実施する。

## 6. 計画期間

平成20年度～平成23年度

## 7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

青森県及びつがる市は、計画終了後に4に示す目標に照らし調査・評価し、公表する。また、必要に応じて事業の内容の見直しを図るために、青森県等で構成する「公共事業再評価委員会」等で施設の整備状況等について評価・検討を行う。

## 8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し